

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月24日

事業所名 放課後等デイサービス ハグプラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		公園等、屋外での活動を取り入れながら工夫してスペースの確保をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	9		基準工に必要な人員について職員間でダブルチェックを行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2	設備の不足を補うため、可能な限り障害物を減らしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	定例会議で行事や支援の振り返り等行っている。	会議で振り返りを行い、内容の共有等非常勤含む全職員が会議録を見返す事ができるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			年に1回実施し、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			当社のHPにて毎年公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5		第三者による外部評価はしていませんが今後も必要に応じて検討していきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			定期的に社内研修を行っている。外部研修含め、より機会を確保していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			児童発達支援管理責任者を中心に、利用児童や保護者のニーズに合わせた支援計画を会議等で話し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		社内の統一された書式を使い、適切にアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			その都度職員間で話し合いながら、利用児童や保護者のニーズに合わせた活動を取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		利用児童の意見も取り入れつつ、多様な体験ができるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			平日、休日、長期休暇中に合わせた過ごし方や活動を決めて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		児童に合わせて個別・集団活動を組み合わせた支援になるように心がけている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3	SNSにて行事内容や支援の様子等の共有を図っている。	非常勤職員との打ち合わせ機会の充実化を図る。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	シフト上、休みの職員への申し送りの徹底	非常勤職員との打ち合わせ機会の充実化を図る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			日々の支援の記録をとり、次の支援に活かせるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			モニタリング時期になると会議でなるべく多くの職員が参加できるように工夫しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	1		地域交流が少ないので、時期を見て機会を増やしていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			学校や保護者と連絡を取りながら、不備がないように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	4		現在、医療的ケアが必要な児童が利用していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1		保護者や相談支援事業所等から、必要な情報を頂いています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	1		卒業前の支援の状況等は可能な限り提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4		今後研修等への参加を検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5	地域のイベント等には積極的に参加するようにしている。	保護者から必要ないという声も頂くため、時期を見て機会の確保を討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	6		参加依頼があれば参加するようにしていこうと思いますが、現状参加依頼もないため参加して実績はありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			児童の様子については連絡帳や送迎時以外にも個別で保護者と電話連絡をしたりと共通理解ができるように努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2		必要に応じて保護者と一緒に支援の方針を考えており、相談体制をつくっています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約の際に書面、口頭にて詳しく説明するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			電話やSNSを使ってその都度対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5		時期を見て開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			苦情受付の窓口の説明は契約時に行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			月に一度、先月の振り返りや来月の行事予定等を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	9			鍵付きのキャビネットに保管し、保護者にも契約の際、同意書への署名を頂いています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			ここに応じて意思疎通が図れるように工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2	地域のイベント等には積極的に参加するようにしている。	外部の受け入れは行ってないため、時期を見て開催を検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2		保護者に対しての周知不足な点を改善していこうと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			年に数回実施し、その都度利用児童にも防災の意識を高めていくよう支援している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1		虐待防止研修を年に1回は実施するようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1		現在身体拘束が必要な児童はいませんが、やむを得ず必要な場合は書面にて確認を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1		契約時にアレルギーの有無を確認し、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3		把握したヒヤリハットの報告書の提出数を増やしていき、改善に結び付けていけたらと思います。